

第 56 回日本医学放射線学会秋季臨床大会案内（I）

理 事 長 今 井 裕
第 56 回秋季臨床大会会長 青 木 昌 彦

第 56 回日本医学放射線学会秋季臨床大会を下記の要領で開催いたします。会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。

記

1. 会期：2020 年 9 月 25 日（金）～27 日（日）
2. 会場：名古屋国際会議場
〒456-0036 愛知県名古屋市熱田区熱田西町 1 番 1 号
3. テーマ：医療の未来を変える新時代の放射線医学
Radiology in a new era changing the future of medicine
4. 内容：教育講演
シンポジウム
特別企画
ポスター（学術演題、教育展示、症例報告）
研修医セミナー
リフレッシュコース
イメージインタープリテーション

以上についての詳細は、追って本電子ジャーナル上でお知らせ申し上げます。

なお、日本救急放射線研究会、頭頸部放射線研究会、電子情報研究会・日本医用画像人工知能研究会合同学術集会、胸部放射線研究会が併催されます。これらの詳細につきましても本誌上でお知らせ申し上げます。

5. 連絡先：第 56 回日本医学放射線学会秋季臨床大会事務局
〒036-8562 青森県弘前市在府町 5
弘前大学大学院医学研究科放射線腫瘍学講座
TEL：0172-39-5103 FAX：0172-33-5627
6. ホームページ：<http://www.congre.co.jp/jrs56/>

以上

日独放射線医学交流計画に基づく交換留学生募集について

日本医学放射線学会 理事長 今井 裕
日独放射線医学交流計画 事務局 長縄 慎二

日独放射線医学交流計画(Japanese-German Radiological Affiliation)は1979年9月、日本医学放射線学会およびドイツ・レントゲン学会両会長の署名の下に発足し、1983年より2年に1回日独両国の放射線科医が集まってWorkshopを開催しています。また1991年より交流計画事業の一環として日本からドイツへの留学制度をスタート致しましたが、2005年からは交換留学制度(Exchange Program)として双方の交流を図っております。ついては下記要領にて2020年度交換留学生を募集致します。ドイツでの研修または研究に興味をお持ちの先生方の応募を歓迎します。

記

[日独放射線医学交流計画交換留学制度]

目 的 : 互いの留学先国において放射線医学を研修ないしは研究し、帰国後は自国の放射線医学の発展に寄与すると同時に、日本—ドイツ放射線医学の交流に尽くす人材の育成を目的とする。

資 格 :

1. 放射線科を専攻する45歳以下の医師。学位、専門医の資格は問わないが、既取得が望ましい。
2. 自施設にてドイツからのカウンターパートナーを受け入れ、サポートすることが可能であること。
3. 語学力(ドイツ語または英語)が十分であること。
4. 2021年3月までに留学開始が可能であること。
5. 本制度を利用したことのない者。

募集人数 : 2名

留学期間 : 原則として3ヶ月

支給額 : 交通費(航空運賃)および滞在費の一部として5,000ユーロを支給する。

選考方法 : 応募書類に基づき、選考委員会にて厳正な審査の上決定する。

応募要領 :

1. 応募方法 : 事務局にメールにてお問い合わせ下されば、必要書類を送付しますので、**必要事項を記入の上、下記期間内必着**にて事務局宛に送付して下さい。

2. 問い合わせ先および送付先 :

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65番地 名古屋大学医学部放射線医学教室内
日独放射線医学交流計画事務局 長縄 慎二
TEL 052-744-2327 FAX 052-744-2335 [メール g.jra@med.nagoya-u.ac.jp](mailto:g.jra@med.nagoya-u.ac.jp)

3. 応募書類締切 : 2019年3月13日(金) (厳守のこと)

第 34 回日本腹部放射線学会

日本医学放射線学会理事長 今井 裕

第 34 回日本腹部放射線学会を下記のごとく開催致しますので、多数のご参加をお願い致します。

会期：2020 年 6 月 19 日（金）AM9 時～ 20 日（土）遅くとも PM5 時半終了

会場：JR 九州ホール・JR 博多シティ会議室

会長：吉満研吾（福岡大学医学部 放射線医学教室）代表理事：南 学（筑波大学 放射線医学）

◆**演題募集要項**：①討論を主体にした口演発表、②展示発表、③問題提示クイズ形式、④大会長公募症例による口演シンポジウム（GI, GU）と致します。尚、症例数やそのバランスにより①、②、③、④の形式を変更させて頂くことがあります。又、③のクイズ形式症例も打田賞展示部門の審査対象となります。

(1) 募集する腹部疾患（III, IV, V は必ずしも病理学的裏づけを必要としません）

I：病理学的裏づけがありそれをもとにした討論が可能な症例。II：病理学的裏づけがある教育的症例。III：興味深いあるいは稀な画像所見を呈した症例。IV：検査時点での迅速な画像診断が IVR などの治療方針決定に特に重要であった症例。V：IVR など、治療前後で興味深い病態の変化などを示す画像が得られた症例。尚、今回④の公募症例（病理学的な裏づけが必要）は、GI では「肝門部 Schwannoma（神経鞘腫）」、GU では「前立腺の導管癌（手術標本で pure type と病理診断された症例）」です。応募がそれぞれ 8 症例に達した時点で募集を締め切りますので、奮って御応募下さい。（過去の日本腹部放射線学会で発表した症例や既に論文化されている、または論文化予定の症例は無効、他学会・研究会での発表は問題ありません。）

(2) 口演発表①、④では、病理医をコメンテーターとして迎え、質疑応答を行います。

(3) 演題の応募は学会ホームページを用いたオンライン登録のみでの受付とします。

演題応募には、筆頭演者は「日本腹部放射線学会 正会員登録」が必要となります。尚、2019 年度及び 2020 年度の年会費納入者に限り（筆頭演者変更時と同様です）。学会ホームページ（<http://www.jsar.jp>）「会員登録」よりご登録頂き、発行されました会員 No を入力し演題登録画面にお入り下さい。（既に会員登録をお済みの方はご自身の会員番号でご入力頂けます。）

2020 年 1 月 10 日（金）開始の演題抄録登録画面より記載に従って入力して下さい。

(4) 発表形式は A. 口演又は展示発表、B. 展示発表希望、C. 問題提示クイズ形式希望、D. 大会長公募症例、のいずれかをオンライン登録上でご選択下さい。口演発表は日本語が基本です（英語での発表も可能です）。展示ポスターは論文形式でなく簡条書を主としたスライド形式での作成をお願い致します。尚、演題の採否及び発表形式については本学会の大会長に一任下さい。演題採否と発表形式の決定は演題登録時にご登録頂いたメールアドレス宛に御連絡差し上げます。2020 年 5 月中に学会ホームページにプログラムを掲示致しますので、そちらでもご確認下さい。

(5) 演題登録後、学会開催前にオンライン登録上で「プレデジタルアトラス」形式で発表内容を事前入力して頂く事が必須となります。病理コメンテーターが上記プレデジタルアトラスの病理像のみでは診断が困難と判断される場合は、学会当日に病理プレパラートをご持参頂くよう大会運営事務局より事前にご連絡させて頂きます。プレデジタルアトラスに十分な病理像をアップロード願います。

(6) 学会当日参加費は、正会員（¥5,000：2020 年度の年会費納入者）、非会員（¥15,000）となります。但し、医学生、初期研修医・大学院生（正会員）は無料、後期研修医・大学院生（非会員）は ¥5,000 です。

◆**演題締切日**：2020 年 2 月 13 日（木） ※）宿泊斡旋は致しませんので、各自ご予約下さい。

◆**第 34 回学会当番施設**：fukubur@secretariat.ne.jp **学会事務局**：E-mail：jsar@oita-u.ac.jp